



お西さん

2008

3-4



「そろそろ、帰ろうか」大沼にて

特集

「こんな気持ちで、お墓参り」

「暑さ寒さも彼岸まで」と申しますが、まだまだしばらくの日が続く今日この頃であります。門信徒の皆様方に於かれましては、お体には十二分にお気を付けられまして、お念仏ご相続下さいませよう念じております。

さて、三月は春のお彼岸であります。お彼岸は春分・秋分の日をはさんで前後二週間の期間をいいます。最近はお彼岸の本当の意味が薄らぎ、ただ休みの日としか感じない人が多いことですが、寂しいきわみであります。そもそも、お彼岸と申しますのは「到彼岸」と言いまして、迷いの世界を渡り悟りの世界に至るという意味であります。迷いの世界とは言ってもなくこの世であります。こう言いますと「そんなはずはない、生活はほどほどに贅沢出来るようになったし、平均寿命ものびたし、楽しい娯楽もたくさんあるのに、なぜこの世を迷いの世界だと言うのか」と言われる方もおられると思います。しかし、そのような幸せはいつ崩れるかもわかりません。次の瞬間には崩れ去り、不幸のど

ん底に落ちるかもしれないのがこの世の中です。

生きるために必要と思っていたものが一瞬にして全て力を失つてしまふ、それが死です。あれだけ世話をしてくれた両親が死んでいく、目の中に入れても痛くないと思っていた子供が死んでいく、そして、誰よりも大丈夫と思っていた自分が死んでいく。これが現実であります。死を考えないようにしたり、遠ざけたり、ごまかそうとしても、それは「死」という問題を解決したとは言えません。死を直視し、それを越えていく道を求める事こそが、死を解決する唯の道であります。それは同時に、「なぜ生きていくか」ということの回答でもあります。私の生死を乗り越えていく道はここにあると明らかにして下さい、喚び通しに喚んで下さって阿弥陀如来のお心にふれさせていただきましょう。

春のお彼岸を機縁としてお念仏のみ教えに皆様と共に遇わさせて頂きたいものであります。

輪番 廣岡 隆圓

「なごみ」の寺 本願寺函館別院

函館市東川町12-12 ☎(0138)23-0647

ホームページアドレス <http://hongwanji-h.h-tk.jp>

春の彼岸会

◆3月17日(月)

午後1時30分より(午後2時30分頃)

台町(常和台)彼岸会

◆3月18日(火)～20日(木)

・晨朝 朝7時より(午後8時頃)
・速夜 午後1時30分より(午後4時頃)

本院彼岸会(本堂にて)

◆彼岸会布教使

北海道教区 胆振組 皇恩寺

増山 顕佑 師

本院納骨堂及び台町墓地におきまして17日(月)～20日(木)までおつとめを致します。20日(木)は本院にて、ラムネとお団子を用意致します。どうぞご利用下さい。

■お供物についてお願いのひと

墓所においては、カラス・キツネ等のイタズラが激しく、墓所の美観を損ね、納骨堂においても生菓子、供花が腐乱する可能性があるため、お供物は読経(お参り)が終えられましたら、仏様からのおさがりの品々ですので、必ずお食べになるか、お持ち帰られますようお願いいたします。

布教使さん紹介



北海道教区胆振組 皇恩寺

増山 顕佑 師

あるご門徒に「彼岸会法要には、ぜひお参り下さい」と声をかけたら、「いやあ、その日はお墓参りしようと思っっていますので、失礼させていただきます」との返事。どうやら、法要にお参りするより、お墓参りの方が大事だと思っておられる様子です。

しかし、お彼岸の意味からいえば、何よりも今生きている私々が仏法を聞かせていただかなくてはなりません。

この期間は、実は、仏道修行のために設けられたものなのです。本来ならば、1年を通して仏道を修めなければならぬわけですが、世俗のことに心を奪われて、ついなまげがちになるところから「せめて、季節のよいこの時

期だけでも…」と、設けられたのです。

浄土真宗では、悟りに到るための修行はせず、また、日々のお念仏の味わいが重要なのですが、このお彼岸の行事を「悟りの世界(お浄土)へ到らしめて下さる如来さまのお徳を讃え、そのお心を聴聞させていただく仏縁」として大切にしています。

彼岸を、あの世と混同して、「あの世に行かれた先祖を供養する期間」と思っているとしたら、それは明らかに間違いです。生死流転する迷いの中のあの世ではなく、真実の悟りの世界へ到る道をお寺の法要にお参りして聞いて下さい。

はじめてみませんか？

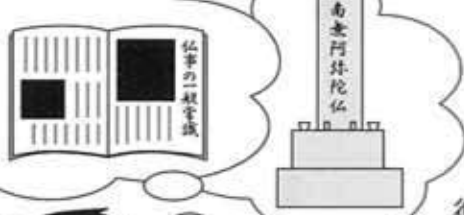
こんなお参り お墓・納骨堂



たとえば、本や新聞などでこんな記事を目にしませんか？「仏事の一般常識」。いろいろな、ためになることが書かれています。しかし残念ながら、それらがすべて私たち真宗門徒にとって正しいこと、とは言えないのです。このことは「お墓参り」についてもそうです。

お彼岸に、お盆に、命日に、そして思い立った時に、私たちはお墓や納骨堂に足を運びます。亡き方を想ってお参りする、それはとても大切なことです。しかし、このことだけに心を向けてしまうと、もっと大切なことを見落としてしまいます。そこで、ぜひ今年のお

彼岸から、こんなお参りをしてみませんか。



亡き方を想ってお参りすることだけに心を向けてしまうと...



南無阿弥陀仏
南無阿弥陀仏



①「亡くなった方のため」ではなく「自分のため」にお参りしてみる

「亡くなった方はどうなるのですか？」とよく聞かれます。私たち「門徒」つまり浄土真宗では、このように教えられています。「亡くなった方は、私たちにとつての仏になる」と。命尽きたその時すぐに、阿弥陀如来の願いのほたらきによつて仏となる、しかも、この仏になるということは、生きている間にもう決まる。それが私たちの教えです。亡くなった方は仏さま、だから私たちがあれこれと心配する必要はありません。むしろ逆に、私たちが「死というものに心配する必要がない」と亡き方から教わるのです。

亡き方を偲ぶことを通して、この私たち自身が仏となるはたらきのことを、自分たちのために考えてみませんか。

②本堂にもお参りして、法話を聞いてみる

死の心配はいらないということは、生きている間に分かつてこそ意味のあることです。

浄土真宗では、例えば霊や魂がお告げをしてくれて何かを知る、ということはありません。亡き方から教わるということなんです。亡き方からそのきつかけをもらって教えを聞く。仏さまの言葉として教えを聞き、知り、考え感じるんです。

お彼岸中には別記の日程で出張所や本堂で法要と法話があります。どうぞお参りのお時間を合わせてお越し下さい。

今生きている自分のために、法要と法話へぜひお越し下さい。



常例布教 布教使さん紹介

3月12日(水) 15日(土)



新潟教区 巻組 萬栄寺

丸山 文雄 師

ご門徒さんの家のおじいさんが、この頃年を取られました。長らく特別養護ホームに入っている連れ合いのおばあさんの見舞いに行くと言って、孫娘を連れて出かけました。ホールで食事を取ることになり、おばあさんの大好きなプリンを持って車椅子を押して食堂に集まりました。おじいさんは早速プリンを口へ運ぶのですが、おばあさんは頑として口を開けません。しばらくすると孫娘がやって来て、「おじいさん、その人だれですか、家のおばあさんじゃないよ。」と言いました。「そうか、プリンをやっても口を開かん理由(わけ)じゃないか。」とおじいさん。

多少、認知症がかって長年連れ添った妻をも認識できなかつたおじいさんを笑うことは出来ません。私たちはいつも、見ている、聞いている、知っている、分かっている、と思い込んでいませんか。実は、ものの本質など何一つわからないのが私たちです。「五眼」というのは、肉眼・天眼・法眼・慧眼・仏眼の五つの眼のことです。「大経」にはお浄土で生まれた者はこの五つの眼を持ち、仏様と同じもの見方が出来るのだと説かれています。特に「慧眼」というのは、肉眼で見ているのではなく、智慧でものを見ているのです。知識の積み重ねではないのです。仏様の眼で見られたら、愚かで救いが

たいのは誰であろう。それは私でした。

智慧の念仏うることは
法蔵願力のなせるなり
信心の智慧なかりせば
いかでか涅槃をさとらまし

(「正像末和讃」三十五首目)

智慧とは如来そのもの、それが字になつたら南無阿弥陀仏という名号、声になつて私に働きかけられるのを称名念仏といいますが。

智慧の念仏＝名号

↓私を受け取り了解しました

↓信心の智慧

↓信心により私が変革され新しい眼がひらかれる

私の人生観が変わってくるのです。信心の智慧をいただきたいなら、ご恩がわかってくる身の上にならざるを得ません。もう一つは、大いなる悟りの世界に入ることが出来る身の上にさせていただけなのです。このことについて常例法座時に詳しく法話させていただきます。

4月12日(土) 16日(水)



北豊教区 田川中組 誓願寺

福高 英昭 師

本年4月、函館地方へ初めて常例法座でお世話になります。北豊教区(九州福岡)誓願寺住職の福高英昭と申します。初めてのご縁で色々要領を得ないことと思いますが、私なりに精一杯お手伝いさせていただきます。思っております。

しようか。この度の常例法座では、このことをテーマとしてみ教えを頂戴してみたいと考えております。

蓮如さまは御文章に「たとい

罪業は深重なりとも必ず弥陀

如来は救いませしと

願のお救いは悪人の上にと

教えて下されます。この「罪業

深重」というお言葉こそ、真実

に背いて生き続けている私の命

を指すものであるということと

頂戴致します。罪業深重「偽

に生きる「命」は決して他人事

ではありません。更に「必ず救

う」とのお言葉に、「願われた命

こそこの私にほかならないとお

知らせいただくのが聞法であり

ます。

教化団体だより

仏教婦人会だより

楽しかった新年会

岸田 桜子

1月23日12時より本堂にて重誓偈をお勤めし、お焼香をして仏様に新年のご挨拶をしました。

厳冬とはいえお日様がささんさんと差し込む文化会館に移り、御輪番・職員の皆様と新年会が始まりました。

御輪番に新年のご挨拶をいただきました。「毎日毎日不幸な事件が多い中、私たちの日暮らしはどうあるべきか、難しい事を考えたり、行なったりするのではなく、出来ることから毎日続けることが大切です。」とのお話でした。「例えば、食事をいただくとき手を合わせ感謝していたり、今日一日を終えるとき仏前で御礼のお念仏をして休むこと、これも報恩行です。」とお話下さいました。できそうで中々できないことのように思えます。

その後美味しいお齋をいただきながらにぎやかにおしゃべりをしました。最後に「真宗宗歌」「しんらんさま」「千の風になつて」を皆で思いきり大きな声でしみじみ歌いました。特に「しんらんさま」の三番目の歌詞がうれいでした。会員の皆様のお元気でニコやかなお顔に出逢えてとても楽しいひとときでした。

今年も御聴聞して念仏を支えに穏やかな1年であります様に、そしてますます婦人会が楽しい集いになることを念じつつ。

3・4月日程

■3月12日正午、
常例仏婦の日

■3月20日午前9時～午後3時頃
お彼岸奉仕
(団子ラムネ販売)

■4月12日正午、
常例仏婦の日

■4月上旬午後1時～午後3時頃
総会

中央仏教通信教育・仏教に学ぶ会

一泊研修会 ◆平成20年1月28日(月)午後2時～29日(火)午後12時



てみました。慣れない動き方や一人で称える「和讃」にとまどう会員さん方…。でも「やつて初めて、分かることあるねえー」と楽しそうに練習されていました。

夜は美味しいお食事、そして「二気に懇親会。今回は会員さんからのお酒やお手製おつまみなどの差し入れも並び、テーブルはさらに賑やかに。そしてはつきり分かったのは、日本酒人気。あらかじめ美味しそうなを用意していたのが…。どんとなくなっていく！こうして楽しそうに飲まれている方も、もちろんお酒を飲まれない方も、笑顔で、そして時に真剣な眼差しで一緒に語り合う時間は、あつという間に過ぎていきました。最後には、全員の誕生日をメモし合うというかつてない展開に…。

翌朝、晨朝。普段と前日の学びの成果が本堂中に響くお勤め。そして朝食の後、「二人一言

法話」。教えの中で育てられているみなさんが一人ずつ、今ある思いを自分の言葉にして語る時間です。生きていくことは簡単ではないし、いろいろなことにもぶつかります。でもだからこそ、その中に輝くことがあるし、遇うことのですばらしさに気づかされるのです。毎年のこの時間、みなさんのお話からいつも私は、このことを教えていただいています。

こうして別院で泊まったの22時間、今年もゴク濃くと過ぎていきました。また来年もしましょうね。それにはもっと用意しとかなきゃ…。お話し、日本酒。

平田



YBAはごだて(仏教青年会)

■新年会

会員 西川明子

2月15日、grill& dining Aというオーストラリア料理店にて新年会が行われました。初参加を含む20名が集まり、歌って踊って笑ってと、非常に楽しいひとときを過ごしました。料理にはワニ肉もあり、かなりの美味！私は初参加でしたが、皆さん気さくで温かく、まるで昔からの仲間のような盛り上がり。お腹も心も大満足です。

「二度会ったら、必ずまた会いたくなる」、YBAはそんな人達の集まりです！



ボーイスカウト



■東別院に行つて学んだ事

函館2団 藤澤夏佳

1月26日、27日に東別院に行つて来ました。今回は、青森1団、ガールスカウト13団、函館2団、函館3団、函館10団の子たちが来てました。全員で約70名という多人数での生活をしました。幸いに、ジャンボリーで一緒だった子、ガールで親しみやすかった子や、青森の言葉をつきかけに仲良くなった子など、さまざまな面で友達となりました。

2日目は、みんなが環境のことを調べるようになりました。

主に、リデュース、リユース、リサイクルの事でした。リデュースでは、マイバッグを持参など。リユースでは、不要なもの、友達やフリマに出したりするという意見がでました。リサイクルでは、スーパーなどの店頭回収に協力するなどの意見がでました。私は今回この話に参加して思ったことが二つあります。それはCMや、その事を話題にしたTVをやつても、やつてる人が少なかつたら意味がないと思いました。やっぱりこういう事は、ボーイスカウトが先頭に立つてやるべきなんだなと思いました。

今回の舎営では、友達のことや環境のことについて学べたのを嬉しく思いました。



江差別院だより

風唄う町から

北陸から蝦夷に渡つたお念仏

江差町には「越前」と呼ばれる地名があります。その名の通り、北陸越前、いまの福井県からの開拓者によつて開かれた土地です。三百年以上の歴史を持つニシンで有名な江差の海岸線の町から少し離れた平地に、およそ百三十年前、最初の開拓者が田畑として切り開いたと聞かせていただき



ました。江差の当別院とほぼ同じ歴史と推測されます。

ご存知のように、福井県は昔から「北陸門徒」「越前門徒」と言われ、お念仏の篤い土地柄です。江差町の越前でも、比較的当別院のご門徒が多いのも頷けます。

ところが、古くからのお仏壇をお護りになられているお宅では、阿弥陀様のお掛け軸が、そして、お仏壇自体がお東(大谷派)のものであることも珍しくありません。今となつてはその事情をご存知の方はおられませんので一概には言えませんが、松前藩が当初「お西のお念仏」を許していなかった当時の姿が窺える気がします。

極寒の地に思いを寄せてお念仏を頼りに開拓をし、この地を我々に残してください。さつた先人を思うとき、熱いものが込み上げてきます。

吉村

ようこそ常例布教へ

◆3月12日(水)～15日(土) 午後1時30分
新潟教区 巻組 萬栄寺

丸山 文雄 師

◆3月16日(日) 午後1時30分

廣岡 隆圓 輪番

◆4月12日(土)～16日(水) 午後1時30分
北豊教区 田川中組 誓願寺

福高 英昭 師

お悔やみ申し上げます

永代経壘志ありがとうございます

親鸞聖人七五〇回大遠忌

◆記念クイズ◆ 第5回

クイズ形式で平成23年の「大遠忌」をご紹介します。
今回は、「迷いの答え」を求めて親鸞聖人が通われた六角堂
に祀られている方を考えてみてください。

- ① 聖徳太子
- ② 鑑真和上
- ③ 聖武天皇

クイズ形式で平成23年の「大遠忌」をご紹介します。

元ファン法話順番表

- 2月24日(日)～3月 1日(土)…村 上(参)
- 3月 2日(日)～3月 8日(土)…西村晃(承)
- 3月 9日(日)～3月15日(土)…西光寺(承)
- 3月16日(日)～3月22日(土)…常例布教使
- 3月23日(日)～3月29日(土)…彼岸会講師
- 3月30日(日)～4月 5日(土)…永 江(承)
- 4月 6日(日)～4月12日(土)…西村玄(承)
- 4月13日(日)～4月19日(土)…廣 岡(輪)
- 4月20日(日)～4月26日(土)…常例布教使
- 4月27日(日)～5月 3日(土)…神 田(副)

24時間お好きなときにいつでもどうぞ

☎0138 27局 2424番

ちよっぴらんき

ご門徒さんから頂いた作品を紹介させていただきます。

氷点下 だれも無口で通りすぎ

美原5丁目 三ツ谷 重次さん

季はぐれ 鉄線の花一輪が

ひらきて霜月の 雪をまとひぬ
湯浜町 土矢 成道さん

ごめんねと 謝るころ 許されて

幸せつかむ 命だからや
大縄町 大辻子 信隆さん

皆さんも俳句、短歌、漫画などお寄せ下さい。

採用の方には、記念品を贈呈致します。

あて先 函館市東川町十二の十一
本願寺函館別院内 お西さん担当係迄

お便り大募集

仏教に関するご質問等、どんなことでも結構です。
「お西さん」にて、お答えします。

表紙大募集

趣味の絵や写真で表紙を飾りませんか？アマチュア・
セミプロ・自薦・他薦は問いません。

あて先 函館市東川町十二の十一本願寺函館別院内

お西さん担当係迄 0138-27-2424

編集後記

▼声帯ポリーフ手術後に1週間使った筆談帳を久々にめくりまし
た。もし、マジ・文字…人の話を聞かない私が、ここにも、自分、
自分自分、どうりで真実が見えないわけだ…。1週間の沈黙が、
聞くことの大切さを教えてくれました。 平田

▼最近日はも長く、春が近づいてきているなど実感していま
す。…と思えば猛吹雪にであったり、大雨が降ったり。函館のお天気
と付き合っていくのは、なかなか骨が折れるなと思っこのころです。

西村(玄)



大沼 雪あそび

かわいらしい雪の像や、ジャンボすべり台などが残る雪まつり跡に大興奮の子供たち！そして、大きな「かまくら」を見つけると…。

子供達「先生！あそこに入りたい！！」先生「よーし、行ってみよう！」みんなで「おじゃましま〜す！！」と中に入ってみると、意外な広さに大よろこび！すると…

Hくん「先生！みんなとバスに乗って帰っていいよ！」先生「え!?どうして?」Hくん「ぼく、今日からここに住む！」先生「え!!」

お気に入りの場所を見つけ、目をキラキラさせながらうれしそうに話すHくんでした。



大沼 雪あそび その後…

楽しい雪あそびを終えて幼稚園に着くと「ただいま！楽しかったよ！」と廊下でRちゃんが。でもそこには誰もいないのに…。

先生「誰と話してたの?」と尋ねると、Rちゃん「誰ってウサギさんだよ！さびしいと病気になるから。」と、廊下でお留守番をしていたウサギさんを気づかう、やさしいRちゃんでした！

新しい お友達

ウサギの「みるくちゃん、どたろうくん、が龍谷幼稚園に仲間入りしました！そんなある日…。

Sくん「先生、みるくちゃんは何を飲んでるの?」先生「お水だよ!」Sくん「え!?なんで?」と険しい顔をしながら「ほそり」と一言…

Sくん「へんなの。「みるく」なのにつ。」



平成20年度

園児募集

心のやさしさを育くむ宗教保育
りゅうこくようちえん

龍谷幼稚園

願書受付中

龍谷幼稚園 ☎23-0274

ホームページアドレス <http://ryukoku.h-tk.jp/>

預かり保育

さんさんくらぶ ご案内

◎お仕事をしているお母さんや、用事でしばらくみて欲しい人のために、幼稚園の保育がすんだあと夕方6時30分までお預かりします。

- ★対象 龍谷幼稚園児並びに2歳以上の弟妹
- ★担当 幼稚園の先生
- ★内容 保育終了後毎日/幼稚園振替日/夏・冬休み
- ★保育料 園までお問い合わせ下さい。